しせいかい

Shiseikai

秋の号
vol.107
2023.10

タイトル:「お月見」陽光館リハビリテーション課

Contents

●介護老人保健施設 陽光館
●ふれあい看護体験
●桜邸からの第一歩
●美ら海水族館に行ってきました／日本精神科医学会学術大会に参加しました
●この秋のありんくりん

日本医療機能評価機構認定病院
機能種別版評価項目 3rdG：Ver.2.0

介護老人保健施設 陽光館

毎月行われるイベント活動

利用者が日々楽しんでいただけるよう、毎月、施設職員がイベントの企画を行い、地域ボランティアのご協力と共に、イベントを開催し盛り上げています。
その他にも、イベントには、利用者と地域の交流や、利用者の余暇活動も目的として含まれております。

8月

余興ボランティア
「具志川男・踊り隊（8名）」

9月

余興ボランティア
「健康レクダンスクラブゆいまーる」

利用者サービス

介護事業所としての取り組み

人材育成

陽光館職員の研修と教育実習生の受け入れ

陽光館では、毎月職員のスキル向上を目的とした様々な研修を行っており、より質の高いサービスを利用者に提供できるよう心がけています。
その他にも、将来の人材育成として、職場体験を受け入れており、今年は中学生２名、専門学生１名の学生を受け入れました。

感染症予防研修

オムツ交換研修

「うるま市立具志川東中学校3年生」職場体験の様子

「沖縄福祉保育専門学校」職場体験の様子

10月

敬老会

10月14日(土)・21日(土)開催

新型コロナウイルス感染症で自粛し小規模で行ってきた敬老会を、今年は利用者のご家族も招待しての大規模開催となりました。

陽光館のコミュニティーホールでの開催となり、舞台では玉城流煌扇会による余興や胡屋青年会・久保田青年会によるエイサー、陽光館職員による余興で場を盛り上げ、会場は歓喜に包まれました。

「玉城流煌扇会　新垣江里子麻里子琉舞道場」による余興

「胡屋青年会・久保田青年会」によるエイサー

陽光館職員余興

アルツハイマー月間　展示イベント

地域貢献

毎年9月は世界アルツハイマー月間となっており、志誠会でも地域包括支援センター具志川ひがしを中心に、様々な場所でアルツハイマーについて知識を広げる目的で情報発信を行いました。

陽光館１階ロビー

陽光館では１階ロビーに利用者と職員が作成した壁画作品を展示し、包括支援センター具志川ひがしの認知症地域支援推進員が認知症カフェを開催しました。

田場公民館

包括支援センター具志川ひがしの認知症地域支援推進員の講演の他、ラジオ沖縄のパーソナリティも務めるアコーディオン演奏者「山原 麗華」さんの演奏も行われました。

イオン具志川

うるま市役所とうるま市にある地域包括支援センター 7事業所が合同で展示や認知症相談会などのイベントを行いました。

ふれあい看護体験

令和2年度より、新型コロナウイルスの影響で「ふれあい看護体験」の実施ができていませんでしたが、今年度は令和5年7月11日に4年振りに開催することが出来ました。具志川高校・具志川商業高校・前原高校・中部農林高校の４校から15名の学生が参加し施設見学・看護体験を行いました。

『ふれあい看護』とは・・・。

→ 近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ5/12が「看護の日」と制定されました。その日を含む日曜日から土曜日が「看護週間」になります。「ふれあい看護」とは、市民のために保健医療機関がドアを開き見学や簡単な看護体験、関係者との交流などを行うイベントです。

※ 本来ならば、看護週間の時期に合わせて行うイベントですが、今年度は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し開催時期をずらしての実施となりました。

参加した高校生からの感想

・私はもともと精神科に良いイメージがなく話の通じない人や急に手を出してくる人などが多いと思っていて少し不安でした。実際に体験してみて、そういう事は全然なく、優しく手を振ってくれる人がいたり、挨拶をしてくれる人がいて将来は精神科で働くのもいいなと思った。ここで働いている方々も皆優しそうで将来ここで看護師として働きたいと思いました。

・患者さんの為のレク等の施設がある事を初めて知りました。レクもただの遊びではなくリハビリを兼ねてやっていることに関心を持ちました。実際に働いている方をみて、もっと看護という職業に興味を持つことが出来た。

・精神科って聞いて、実際に来てみたら思っていた精神科とは全く違っていた。病院を出たあとも、ちゃんと社会に戻っていけるように施設が近くにあり、精神科に対する見方が変わった。最初は行くの迷ったけど来てよかったなと思った。

・患者さんとコミュニケーションを取り信頼関係を築く事の大切さを感じた。

・おばあちゃんたちと交流するという貴重な体験ができて良かった。

・患者さんが復帰するには、医者や看護師・作業療法士などたくさんの人達が関わって治療しているんだなと感じた。

・平和病院は、患者さんを第一に考えながら施設が整えられていて、とても良い病院だと思いました。

PPE（個人用防護具）着用しての感想

・防護服を着る体験では、息がしづらかったし、暑かったし、脱ぐのも着るのも大変で、医療従事者の方たちはすごいなと思った。

・防護服を着る体験ができ、コロナが流行っていた時、この服を着ていた医療従事者の方たちが本当に大変だったろうなと思った。

・防護服を着て、こんなに暑い中2～3時間、この服を着て作業していると聞いてびっくりしたのと、すごいなと思いました。

桜邸からの第一歩

自立訓練事業所しせいかい【桜邸】は、日中のサービスとして【生活訓練】と夜間のサービスとして【宿泊型自立訓練】の2つの福祉サービスを提供しています。

今回は、桜邸の生活訓練を体験終了（又は体験中）して、自分らしい自立した生活を目標に、前向きに第一歩を踏み出して、B型事業所で就労訓練に取り組んでいる二人の方へインタビューを行いました。

桜邸に入所中のKさん（就労訓練工場しせいかい　就労継続支援B型事業所製パン工場）

①働いてみた感想は？

答）楽しいけど、ちょっときつい時もあり、行きたくないと思うこともある。でも此処で働くことで、パン職人への夢を抱くことができ、今はワクワクしている。

「意外と、成形作業は難しいんですよ」
と笑顔に目をほそめる彼女でした

②もしも桜邸を経由しなかったら、就労を継続出来ていたと思いますか？

答）出来なかったと思う。以前は生活も乱れて、病人ではないと言い張る私を病院に連れてきた家族とケンカばかり。周りの人たちには自分が病気なのを隠そうとしてきた。でも桜邸で色んな人達と関わって“ありのままでいい”と背中をいつも押してくれたことで少しずつ自信を取り戻すことができた。今はいつも見守ってくれる家族に感謝している。

③今後の目標は？

答）60代、70代と定年退職のない、今の訓練を活かした仕事に携わっていきたい。

桜邸を退所してグループホームに入所中のSさん（就労訓練工場しせいかい 就労継続支援B型事業所製麺工場）

「連携作業だから、しっかりと計らんといけないさー」
と余裕のある表情も見られました。

①働いてみた感想は？

答）先月からきつくなっている。
慣れてきたら色々と任せられるからきついけど、指導員がいいから頑張れる。仕事やって良かったさー。

②もしも桜邸を経由しなかったら、就労を継続できていたと思いますか？

答）出来なかったはず。家にいた時は仕事もしないでダラダラ過ごして、死んだ母ちゃんにも迷惑をかけた。でも桜邸にいた時は特別だった。あんなに沢山、掃除をしたことはない。あの時は難儀だったけど、今はそう思わないさー。

③今後の目標は？

答）今、毎日午前中働いている。でも午後もフルで働こう、と思っている。

就労訓練工場しせいかいは就労継続支援B型事業所で、製パン工場、製麺工場、農耕、食品加工工場、喫茶店、売店/喫茶の6事業所があり、一人ひとりの希望にそった環境を提供し、専門の指導員が就労支援を行っています

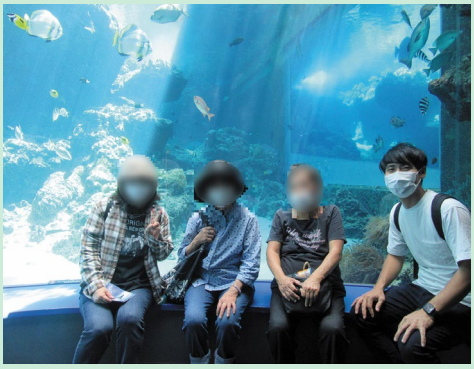
平和病院
デイケア

美ら海水族館に行ってきました

デイケアでは、生活意欲の向上・楽しむ体験を通しての気分転換・通所者同士の対人交流促進を目的に、外出イベントを定期的に実施しています。ここ3年はコロナ禍の影響により外出活動は控えておりましたが、今年度より外出イベントを再開しました。過去の外出先としては、四季や年中行事を感じられる八重岳お花見・初詣、有名観光地を楽しめる美ら海水族館・首里城・道の駅などに行っておりました。

今回は、最も要望のあった美ら海水族館へ行ってきました。道中は、和気あいあいとした雰囲気の中で会話が弾み、車窓からの景色を眺め「昔と色々変わっていてビックリです。」との声もあり、1時間30分の長い道のりもあっという間のドライブでした。到着後は、伊江島と青い海を見渡せる海洋博公園でランチタイムです。普段と比べ自然と箸を進めるペースもゆっくりとしており、絶好のロケーションも含め美味しく味わいながらの食事となりました。

そしていよいよ美ら海水族館へ入館です。多くの観光客に囲まれ初めは緊張した様子をみせていましたが、目の前に広がる大きな水槽はまるで海の中を歩いているようで、色とりどりの魚や大きなジンベイザメに感動し、表情にも笑顔がみられ自然と会話も増えていきました。



今回の外出を終えみんな口をそろえて「楽しかった。また外出イベントに行きたい」と話していました。普段はあまり会話されない方から「生まれて初めて美ら海水族館に来ました。」と嬉しそうに感想を話す場面もありました。

外出イベントでしか体験する事の出来ない非日常的な刺激により、通所者同士の交流も活発で質の高い気分転換ができました。参加された方の「また行きたい」という声に応えられるよう、日常業務から通所者のニーズを常に把握し、活発なデイケア運営を心がけていきたいです。

日本精神科医学会学術大会に参加しました

去った１０月１２日、１３日に熊本県で行われた第１２回日本精神科医学会学術大会に参加してきました。精神科医療では患者の地域移行が進められており、医療の役割は「疾病の治療」だけではなく地域生活へ繋げる支援が求められるようになっています。当院では、入院中から本人の生活する場所を含めた支援の重要性に着目し、地域包括ケアシステムの一環として「精神科退院前訪問指導」に取り組んでいます。

「精神科退院前訪問指導」を通して様々な方法の支援が提供できると感じており、その内容をまとめて発表してきました。

地域生活に向けた支援の現状に「すごく手厚く支援されていますね」と反響もありました。また、たくさんの論文発表を受けて、日本全国の精神科医療・福祉・リハビリの水準を知ることができ、とても刺激になりました。この経験を活かし、これからも型にはまらない柔軟な支援の立案に励みたいと思います。

（作業療法課　新里将悟）

この秋のありんくりん

実習を通して感じたこと
～精神保健福祉士～

平和病院で精神保健福祉士を目指している大学生の就業実習を行いました。実習を終えての感想を紹介します。

「初めは精神障がい者に対して怖い、近づき難いようなイメージがありました。しかし、色々な患者さんと出会う中で、自分が１人の人間として尊重される存在であるように患者さん一人ひとりも尊重される存在だと感じました。実習を通して、患者さんの抱える思いに多職種で寄り添い支援を行っていることを学びました。答えのない支援に悩み葛藤しながらも、患者さんやその家族の為に最善を尽くす精神保健福祉士としての役割を学べたこと、何よりもその場面に何度も立ち会わせていただけたことに感謝しております。ありがとうございました。」　（沖縄大学　座喜味向葵）

新任医師紹介

専攻医 髙木雄貴先生

はじめまして。

大阪にありますさわ病院というところから来ました、髙木雄貴と申します。

昔から沖縄や離島の自然や文化、食べ物が大好きで、毎年のように旅行に来ていました。そんな沖縄での勤務が始まり、心躍る気分です。休みの日は離島や文化遺産めぐり等をして楽しませていただいております。

平和病院に勤めてまだひと月も経っておりませんが、病院のシステムがとても充実しており、スタッフの方々も温かい雰囲気で接してくださるのでとても働きやすいです。

短い間ではございますが、うるま市の精神医療に少しでも貢献できるように努めて参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

日本精神科医学会
学術教育研修会PSW（精神保健福祉士）部門

令和５年９月２８日、２９日と「日本精神科病院協会　日本精神科医学会　学術教育研修会PSW部門」が宮崎県にて開催され、当院からもPSW２名が参加してきました。精神科医療の歴史、将来展望に加え、診療報酬上の動向、精神保健福祉士法の定義改正、精神保健福祉法の改正等について、全国にいるPSWと共に学ぶことができました。今回の研修で学んだことを今後の業務に生かしていきたいと思います。　（診療相談課　高屋）

設立理念

1. 当院は新しい精神医療を行うことを目的とする
2. 精神障害者及びその家族の立場に立ち可能な限り物心両面から援助を行う
3. 作業療法、レクリエーション等を再検討し真に社会復帰に結びつく療法を確立する
4. 地域精神医療を行う
5. 精神医学、精神医療の発展に結びつく研究を行う
6. 病院運営にあたっては一般企業並みの経営を行い医療は最新かつ高度なものとする

患者憲章

平和病院は、設立理念に則り、医療の中心は患者様のためにあることを深く認識し、一人ひとりの患者様に次のような権利と責務があることを宣言します。

- あなた様には尊厳とプライバシーの保護を受ける権利があります
- あなた様には最良な医療を平等に受ける権利があります
- あなた様には知る権利があります
- あなた様には自己決定する権利があります
- あなた様には責務があります

基本方針

当院は、自然環境を活かし、アメニティーの充実を図ると共にチーム医療における質の高い医療を追求する。また、医療・保健・福祉における連携および患者様の人権を尊重し、患者様並びに家族との相互理解を深め、地域のニーズにあった信頼される医療を提供する。

広報誌 しせいかい No.107 October 2023

精神科・心療内科

平和病院

病床数：212床（内 指定病床17床）

☐ 精神科救急急性期医療病棟（スーパー救急） ☐ 認知症治療病棟 ☐ 精神療養病棟 ☐ 精神科訪問看護 ☐ 精神科デイ・ケア

受付/午前8:30～11:00　午後1:00～3:00　木・日・祝祭日は休診

電話：098-973-2000　住所：うるま市字上江洲665番地

☐ 相談支援事業所しせいかい（指定特定相談支援事業）

介護老人保健施設

陽光館

入所定員：140床（認知症専門棟40床）　在宅強化型施設

☐ 介護老人保健施設陽光館入所 ☐ 短期入所療養施設陽光館
☐ デイケアセンター陽光館 ☐ 指定訪問リハビリテーション陽光館
} 電話：974-4000

☐ ホームヘルプサービスセンター陽光館 ☐ 居宅介護支援事業所陽光館　電話：974-8000

受付/午前8:30～12:00　午後1:00～5:00　木・日・祝祭日は休館

住所：うるま市字上江洲661番地

☐ 認知症グループホームあおば邸　電話：974-9770　住所：うるま市字上江洲708-1

☐ うるま市地域包括支援センター具志川ひがし　電話：974-4001　住所：うるま市上江洲779-2

医療法人社団志誠会

障がい福祉サービス事業所

☐ グループホームしせいかい（外部サービス利用型共同生活援助・短期入所）　電話：974-6000

☐ 自立訓練事業所しせいかい（宿泊型自立訓練・生活訓練・短期入所）　電話：974-6100

☐ 就労訓練工場しせいかい（就労継続支援B型）　電話：973-0030

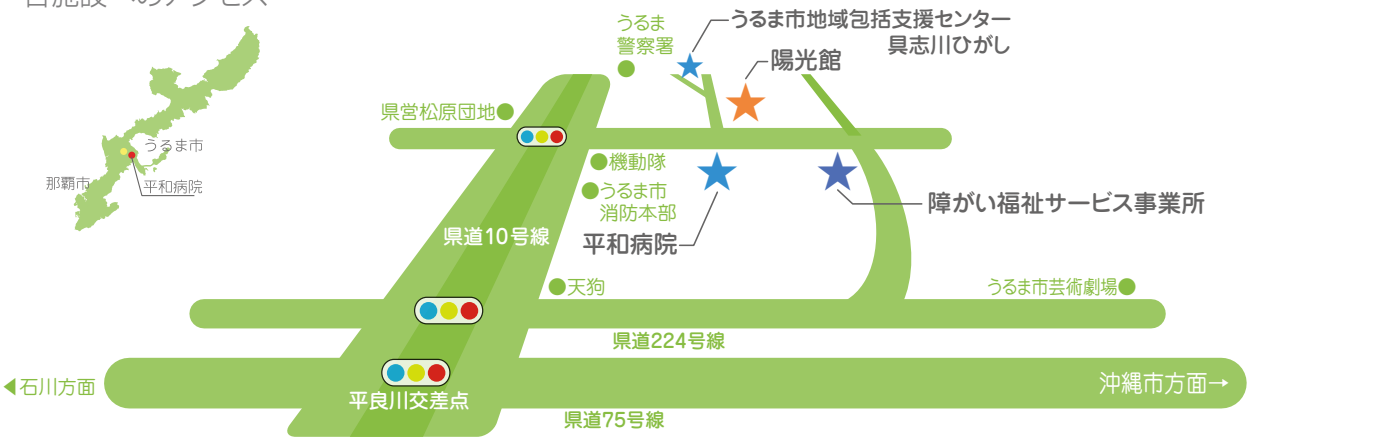
職員募集!!

志誠会では**「ケアマネジャー・ケアプランナー・看護補助者・看護補助アシスタント・介護職（入浴介助のみ可）・介護補助（身体介助伴わない補助作業）・ヘルパー非常勤・調理スタッフ」**等の職員を募集しています。

その他職種も募集していますので、興味のある方はホームページをご覧ください。

098-973-9590（平和病院　総務課）

各施設へのアクセス



編集後記

夏の猛暑から一転、風も涼しくなり過ごしやすい秋の季節となりました。

秋は「食欲の秋」を思い浮かべる方も多いと思いますが、その言葉の由来があるようです。「動物の本能で食欲増進」食べ物が少なくなる冬に向けてエネルギーを貯めこむため本能的に食欲が増すという説です。秋は食欲が増し、体重を増やす傾向があるようなので美味しいものを楽しみながら、でも健康には注意したいものです。

さて、今回の秋の号では、陽光館、平和病院、訓練施設でのイベントや研修、訓練など各施設での活動が一目でわかるよう編集してみました。療養者が楽しんでいる様子もうかがえますので是非一ご読下さい。

この秋、私は毎日リンゴ酢を飲み始めました。リンゴ酢は、ダイエット効果だけでなく、血圧を下げる効果、血糖値を下げる効果、骨の健康への効果などさまざまな効果があるようです。今度の検診結果が楽しみです。皆さんも始めてみませんか。

（伊芸　幸政）

●ご意見・ご感想は右記までお寄せ下さい。ホームページアドレス　http://shiseikai-heiwa.com/

発行日：令和5年10月28日　発行所：〒904－2222 うるま市上江洲665番地 TEL098（973）2000 FAX098（974）5169
発行責任者：理事長　小渡敬
編　　集：志誠会広報誌編集委員会

GREEN PRINTING JAPAN P-B10269 この印刷物は、環境に配慮した資材と工程で製造されています。